



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 倉田 一 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績（平成25年7月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	9,321	1.4	408	△26.1	470	△7.4	92	△54.0
25年6月期第2四半期	9,196	5.4	553	12.0	508	11.9	200	43.8

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 362百万円 (△14.3%) 25年6月期第2四半期 423百万円 (539.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	14.91	—
25年6月期第2四半期	32.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	17,423	11,854	65.0
25年6月期	17,061	11,754	65.8

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 11,331百万円 25年6月期 11,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,038	4.6	712	△33.1	834	△28.2	208	△59.4	33.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）PT. SUGINDO INTERNATIONAL、除外 1社（社名）－
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期2Q	6,195,000株	25年6月期	6,195,000株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	2,184株	25年6月期	2,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期2Q	6,192,816株	25年6月期2Q	6,192,816株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策、金融緩和等を背景に円高修正、株高が進み着実に景況感に改善が見られました。ただし、消費税増税後の景気減速懸念等、景気の先行きに不透明感を残す中での緩やかな回復基調となりました。

当社グループにおいては、主力の部品セグメントで、自動車電装部品が引き続き好調に推移しました。一方、中国広東省中山市にあります連結子会社鈴木東新電子（中山）有限公司において、新工場立ち上げのための初期費用が想定よりも増加したことに加え、円安の影響を受け民生向け部品が減少傾向となり大幅な減益となりました。また、機械器具セグメントでは、医療器具が主力製品の需要増加を背景に順調に推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、国内外の変化や事業環境の変化に柔軟に対応して自らを変化させていく企業を目指し、コスト競争力強化に向けた半分・半減活動や生産効率向上に向けた取り組みを継続するとともに、経営の安定化に向け、新規事業分野への進出を含めた各施策を推進してまいりました。その中で、鈴木東新電子（中山）有限公司の受注品目の拡大を進めております。また、平成25年12月12日をもってインドネシア共和国に連結子会社PT. SUGINDO INTERNATIONALを設立いたしました。なお、実際の稼動につきましては平成26年10月を予定しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億2千1百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益4億8百万円（前年同期比26.1%減）、経常利益4億7千万円（前年同期比7.4%減）、四半期純利益9千2百万円（前年同期比54.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金型

自動車向け、電子機器向け金型を主軸として販売してまいりました。自動車向け金型は海外市場の好調に後押しされ堅調な推移となりました。一方、電子部品向け金型は新規開発品の減少や海外メーカーの台頭による金型価格の下落等が影響し厳しい状況となりました。

その結果、売上高は5億7千3百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は6千3百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

②部品

電子機器関連は、引き続き高機能携帯端末向けコネクタ用部品を中心として販売してまいりました。また、自動車のエレクトロニクス化の流れのなかで車載用の電子機器向けが伸長しました。一方、自動車電装部品は北米市場を中心に高需要が継続していることから好調に推移しました。

その結果、売上高は76億1千万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は5億7千4百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

③機械器具

専用機のうち自動車関連装置は市場の好調を受け増加となり、医療関連装置も需要増を見据えての増設などにより受注増加となりました。一方、SMT関連装置及び半導体関連装置は、市場低迷の影響が長引いており厳しい状況となりました。医療器具は、主力製品の需要が拡大していることから販売が増加しました。

その結果、売上高は11億3千5百万円（前年同期比24.1%増）、セグメント利益は1億7千9百万円（前年同期比56.7%増）となりました。

④その他

賃貸事業を行っております。売上高は2百万円（前年同期と同額）、セグメント利益は1千3百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は77億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千6百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2億5千2百万円減少し、現金及び預金が1億6千万円、商品及び製品が1億4千2百万円、原材料及び貯蔵品が8千9百万円増加したことによるものであります。固定資産は96億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千5百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が3億1千3百万円増加し、有形固定資産が2千5百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は44億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千4百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2億5千5百万円、支払手形及び買掛金が7千2百万円増加したことによるものであります。固定負債は11億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億1千4百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は118億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億5千8百万円増加し、利益剰余金が7千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億6千万円増加し、18億8千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、9億2千7百万円（前年同期比9.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億4百万円、減価償却費5億6千8百万円と資金が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億5千1百万円（前年同期比25.9%減）となりました。これは主に、部品事業の生産設備増設及び更新等の有形固定資産の取得による支出4億8千7百万円、関係会社株式の取得による支出5千5百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億9千7百万円（前年同期比36.5%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額2億3千5百万円により資金が増加しましたが、長期借入金の返済による支出1億7千1百万円、配当金の支払額1億6千6百万円、少数株主への配当金の支払額1億8千1百万円と資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期通期の連結業績予想につきまして、平成25年8月12日に公表いたしました業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、平成26年1月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであり、以降修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、PT. SUGINDO INTERNATIONALは新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員退職慰労金の支払いに備えて、内規に基づく退職慰労金見積額を計上しておりましたが、平成25年6月期に係る定時株主総会の日をもって役員退職慰労金制度を廃止し、当該総会までの在任期間に対応する役員退職慰労金を打切り支給（支給時期は、各役員等の退任時）することを決議しました。

これに伴い、役員退職慰労引当金は全額取崩し、打切り支給額422百万円を長期未払金として、固定負債に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,008,978	2,169,881
受取手形及び売掛金	3,829,924	3,577,805
商品及び製品	165,726	307,728
仕掛品	442,725	456,141
原材料及び貯蔵品	793,647	883,192
その他	407,015	400,089
流動資産合計	7,648,017	7,794,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,517,297	3,354,464
機械装置及び運搬具（純額）	2,921,446	2,843,357
土地	1,217,584	1,217,584
その他（純額）	331,369	546,649
有形固定資産合計	7,987,698	7,962,055
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,187,718	1,500,760
その他	163,451	96,852
貸倒引当金	△936	△936
投資その他の資産合計	1,350,233	1,596,677
固定資産合計	9,413,734	9,629,025
資産合計	17,061,752	17,423,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,933,603	2,006,262
短期借入金	1,035,519	1,291,035
1年内返済予定の長期借入金	342,672	286,100
未払法人税等	211,867	233,434
賞与引当金	70,465	93,762
役員賞与引当金	38,600	16,898
その他	455,172	495,233
流動負債合計	4,087,902	4,422,727
固定負債		
長期借入金	114,764	—
長期未払金	—	422,700
退職給付引当金	691,845	717,107
役員退職慰労引当金	413,140	—
その他	—	7,031
固定負債合計	1,219,749	1,146,839
負債合計	5,307,651	5,569,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,435,300
資本剰余金	1,439,733	1,439,733
利益剰余金	7,888,739	7,813,846
自己株式	△1,130	△1,130
株主資本合計	10,762,642	10,687,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452,903	611,256
為替換算調整勘定	6,331	32,726
その他の包括利益累計額合計	459,234	643,983
少数株主持分	532,223	522,565
純資産合計	11,754,100	11,854,298
負債純資産合計	17,061,752	17,423,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	9,196,140	9,321,684
売上原価	7,961,948	8,201,409
売上総利益	1,234,192	1,120,274
販売費及び一般管理費	680,802	711,377
営業利益	553,390	408,896
営業外収益		
受取利息	223	466
受取配当金	6,570	8,716
受取賃貸料	2,748	2,670
スクラップ売却益	2,630	3,112
為替差益	—	51,606
その他	4,743	3,323
営業外収益合計	16,916	69,895
営業外費用		
支払利息	9,591	8,170
為替差損	51,706	—
その他	691	—
営業外費用合計	61,989	8,170
経常利益	508,318	470,621
特別利益		
固定資産売却益	21,460	7,073
特別利益合計	21,460	7,073
特別損失		
固定資産売却損	2,736	600
固定資産除却損	2,408	1,371
減損損失	—	68,009
会員権評価損	—	3,318
特別損失合計	5,144	73,300
税金等調整前四半期純利益	524,633	404,395
法人税、住民税及び事業税	223,397	262,433
法人税等調整額	△21,490	△29,197
法人税等合計	201,906	233,235
少数株主損益調整前四半期純利益	322,726	171,159
少数株主利益	122,261	78,846
四半期純利益	200,465	92,313

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	322,726	171,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,227	158,352
為替換算調整勘定	△9,406	33,388
その他の包括利益合計	100,820	191,741
四半期包括利益	423,546	362,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,520	277,061
少数株主に係る四半期包括利益	118,026	85,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	524,633	404,395
減価償却費	579,254	568,645
減損損失	—	68,009
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,586	23,196
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,521	25,262
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18,360	△413,140
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,580	△21,702
受取利息及び受取配当金	△6,794	△9,182
支払利息	9,591	8,170
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18,723	△6,472
有形固定資産除却損	79	1,371
会員権評価損	—	3,318
売上債権の増減額 (△は増加)	246,604	261,491
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△56,644	△230,774
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,797	66,297
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	422,700
その他	△94,539	△26,415
小計	1,215,550	1,145,170
利息及び配当金の受取額	11,966	10,595
利息の支払額	△9,784	△7,824
法人税等の支払額	△216,130	△240,578
法人税等の還付額	25,858	20,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027,461	927,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△693,961	△487,633
有形固定資産の売却による収入	28,388	13,157
投資有価証券の取得による支出	△11,726	△12,809
関係会社株式の取得による支出	—	△55,222
その他	△66,040	△8,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△743,339	△551,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	160,728	235,218
長期借入金の返済による支出	△171,336	△171,336
配当金の支払額	△154,010	△166,278
少数株主からの払込みによる収入	—	85,802
少数株主への配当金の支払額	△147,000	△181,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311,617	△197,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,502	△18,123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,993	160,872
現金及び現金同等物の期首残高	1,457,338	1,721,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,455,345	1,882,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	567,544	7,711,138	914,938	9,193,620	2,520	9,196,140	—	9,196,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	161,787	△151,341	136,326	146,772	34,400	181,172	△181,172	—
計	729,331	7,559,796	1,051,264	9,340,393	36,920	9,377,313	△181,172	9,196,140
セグメント利益	63,642	808,222	114,764	986,629	13,920	1,000,549	△447,158	553,390

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。
 2. セグメント利益の調整額△447,158千円には、セグメント間取引消去△10,524千円、各報告セグメントに
 配分していない全社費用△425,618千円、棚卸資産の調整額△10,377千円及びその他の影響額△639千円が含
 まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	573,591	7,610,234	1,135,338	9,319,164	2,520	9,321,684	—	9,321,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	212,212	△88,085	129,728	253,855	32,600	286,455	△286,455	—
計	785,804	7,522,148	1,265,066	9,573,019	35,120	9,608,139	△286,455	9,321,684
セグメント利益	63,325	574,617	179,838	817,781	13,509	831,291	△422,394	408,896

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。
 2. セグメント利益の調整額△422,394千円には、セグメント間取引消去△24,689千円、各報告セグメントに
 配分していない全社費用△407,604千円、棚卸資産の調整額14,102千円及びその他の影響額△4,203千円が含
 まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。